

平成28年5月11日

地方創生ストリートミーティング【子育て世代編①】主な意見

1 予防接種の助成をお願いしたい（肝炎、ノロ等）

⇒【中央保健センター回答】

子どもの予防接種は、国において定期の予防接種とされたものは、全額公費（市費）負担で受けていただくことができますようにしています。また、就学前の乳幼児のインフルエンザ予防接種には、費用助成を行っています。それ以外の定期でなく任意の予防接種は、助成等は実施しておりません。（国が安全性有効性等を検討し定期となっていないため）なお、B型肝炎予防接種は、今年（平成28年）10月に定期予防接種として開始される予定で、本市も遅れることなく実施できるよう事務を進める準備をしています。（9月補正または、既定予算対応で年度末補正）

おたふくかぜ及びロタウイルスについては、国で定期化に関して検討しているが現在も検討中です。

また、ノロウイルスの予防接種はありません。

2 児童館が何か所かあるとありがたい。

児童クラブに入っていない子どもが集えるような場所があると良い。特に雨の日の需要が大きいと思う。図書館、体育館があれば、尚良い。

→市長：地区公民館の土日解放も視野に入れて考えたい。

⇒【生涯学習・スポーツ課回答】

鳥取市公民館条例施行規則第2条により、地区公民館の休館日及び開館時間は下のように定められています。

（1）休館日 12月29日から翌年の1月3日までの日

（2）開館時間 午前8時30分から午後10時まで

このため、地区公民館は、土日に子育てサークル等で利用いただける状況です。

⇒【児童家庭課回答】

一部の児童館を除いて、全体的に利用者が減少傾向にある中で、児童館の新設は実施困難。

3 医療費の助成をお願いしたい。

1回は530円でも回数が多くなれば負担が大きい。

→市長：全てを助成するのは難しいので、どのあたりに助成するのが良いのか等も含めて検討する必要がある。また、病気を予防する取り組みも大事。

⇒【保険年金課回答】

他県では乳児期だけを手厚く助成している地域もあるが、本市では事業の共同主体である鳥取県・県内市町村との協議の結果、乳児期に限定せずに幅広い年代（0歳から18歳まで）に助成していく考え方で平成28年4月から対象を拡大したところであり、実施は困難。

なお、小児の通院に係る一部負担金の額は、1回あたり530円としているが、同一の月に

同一の医療機関に通院した場合の負担額は1か月に4回分（2,120円）を上限（5回目以降無料）としている。

4 平日は、子育て支援センターなど施設が充実しているが土日に行く場所が欲しい。

公共施設はあるが、土日は小学生など大きな子どもがいて幼児が遊ぶには危ないので安全に遊ばせられる場所が欲しい。

⇒【児童家庭課回答】

子育て支援センターの土日開園が考えられるが、保育士確保が困難な現状では実施困難。

※0・1・2・3 子育て広場は土曜日も開園中

5 歩きタバコや吸い殻のポイ捨てが多いので啓発をもっとしてほしい。

公園にも吸い殻がたくさんある。

⇒【生活環境課回答】

当市では条例によりポイ捨ての禁止を定め、環境美化やマナーアップ、条例周知に努めているところです。引き続き市民への啓発を進めていくとともに、効果的な施策を検討し、平成29年度当初予算に反映したいと思います。

6 一時預かりが1日単位なので、半日や時間単位で預けられるようにしてほしい。

第2子、第3子と違いがあると良いと思う。

⇒【児童家庭課回答】

半日単位での実施を検討。（松保保育園・スペースコモドでモデル的に）

※駅南庁舎託児室での実施も検討したが、保育士確保が困難なことから実施見送り。

7 公立幼稚園が市街地にないので作ってほしい。

⇒【児童家庭課回答】

市街地にある私立幼稚園の児童数が減少していることから実施は困難。

8 市の核となるような企業がほしい。

⇒【企業立地・支援課回答】

本市において、新たな工業団地の整備を進めるとともに、大規模優良企業の誘致に積極的に取り組んでいるところです。南吉方の三洋跡地には、(株)源吉兆庵（高級和菓子製造・販売 平成28年8月操業予定 雇用計画330人）、共和薬品工業（株）（ジェネリック医薬品製造 平成29年4月操業予定 雇用計画120人）や、鳥取南インター布袋工業団地にはマルサンアイ（株）（豆乳・飲料等の開発・製造 平成29年5月操業予定 雇用計画100人）の進出が決まっています。

いずれの企業も今後大きく成長されることが見込まれており、本市の産業をけん引する企業として成長が期待されているところです。今後も、引き続き本市経済と市民生活の向上につながる優良企業の誘致に努力して参ります。

9 ピョンピョンで幼稚園の運動会等を放映してほしい。

⇒【広報室回答】

現在、いなばぴよんぴよんネットの広報番組で、保育園の季節ごとのイベントなどを市政ニュースとして放送しております。

今後も、他の市政ニュースとのバランスを考えながら、可能な限り、保育園・幼稚園の取り組みなどを紹介していきます。

10 保育園の送迎サービスがあると大変助かる。

⇒【児童家庭課回答】

多額の経費が必要なこともあり実施困難。

11 小規模保育所を駅周辺に増やしてほしい。

⇒【児童家庭課回答】

駅南付近への誘致を検討。（新規参入事業者に検討を要請）

12 子育てに役立つ情報がわかりづらいので、もっと発信してほしい。

⇒【児童家庭課回答】

子育て支援センターなどを中心に情報提供の充実を図る。

「とっとり市子育て手帳」の活用

⇒【中央保健センター回答】

（改善）

現在、子育て情報は母子健康手帳交付時、産院退院時、赤ちゃん訪問時、乳幼児健診時、転入時等様々な機会をとらえてリーフレットやパンフレット等で情報提供している。そして、今年4月から鳥取市の子育て情報を一冊にまとめた「鳥取市子育て手帳」を作成し配布している。また、ホームページも随時更新し最新情報の発信に努めている。

しかし、情報が多いため、かえって選択しにくいといった面があることも否めない。それぞれの親子の求めることは何かを丁寧に聞き取り情報提供していくよう努めていきたい。

13 妊娠期にも情報交換できる場があったら良い。

⇒【中央保健センター回答】

（取組に向け検討）

本市では妊娠期から出産、子育て期の切れ目ない包括的な支援を行い、気軽に相談に応じられる体制を整えている。今回の妊婦さん同士の情報交換ができる場について検討していきます。

14 公共交通の優遇制度を充実させてほしい。

本数が少ないので不便。保育園、幼稚園の近くに停留所があれば利用する人が増えるのでは。

⇒【交通政策課回答】

①100円循環バス「くる梨」は、小学校就学前の幼児は無料です。

②「鳥取市子育て支援カード」を提示された人について100円循環バス「くる梨」の運賃を1名分無料にする支援を行っています。
具体的な園の情報がないので回答が難しい。

15 中心市街地や公共施設にベビーカーの貸し出しがあると便利。

⇒【児童家庭課回答】

早期実施に向けて、中心市街地整備課と連携し検討中。
ベビーカーは、市職員から中古の提供を募る。

⇒【中心市街地整備課回答】

関係団体の意見をお聞きし、実施する方向で検討を行っています。どこに設置するか等調整が整い次第モデル的に実施する予定です。ベビーカーを庁内で調達するなど予算のかからない方法での実施を考えています。